

4月13日(土)

新丁字屋で行われた
「支部総会」の様子



巻頭言 生命之樹の下で

支部長 菅井 一良

「でか!!」「わあ、涼しい・・気持ちいい」樹齢二百年を超えるガジュマルの樹を見上げた孫たちの眩き。天然のエアコン。涼しい空気。側根が力強く伸びて副幹がしっかりと繁がる頑丈な姿勢。まさに精霊の宿る木である。「天空の城ラピュタのモデルなんだ。この木は・・」。これは親子三世代台湾旅行のひとコマです。休息可能



な静かな空間が広がる樹冠の下に、人々は寄り添って生きていた。「大きな戦争や自然災害の時でも、私達を守ってくれたありがたい樹なんだ」と語る店長さんのアイスは実に美味しかった。

先日、90歳近い先輩を尋ねた。「皆の世話になって生きている」「誇れる事など何もない」とポツリ。退職後、区長や子ども達の見守りなどを献身的にやっておられた事を私は知っている。地区の集会に出かける息子さんにアドバイスをしたり、お嫁さんとの微笑ましい会話も見聞している。

今年3月に百歳を迎えた会員が誕生した。耶麻支部では二人目である。誠におめでたい事である。東大の中西教授によれば、2050年頃には百歳まで働き、120歳まで余生を楽しむ時代が来るという。長寿社会を健康に過ごす事、その三種の神器と称される一つに『社会的繋がりを持つ』がある。

今、耶麻支部に嬉しい新しい風が吹いている。

- 一方部で行なわれていた月に一度の食事会。地域を超え会員も増えて定例化している。また、昨年発足した支部四つ目のクラブ「大人の遠足クラブ」では、会員が10人を超えたそうだ。
 - 生涯部では、現退職校長懇談会の他に「たまり場」も計画している。第1回目は6月15日(土曜日)、厚生会館の1室を1日借上げ、ふらっと出かけおしゃべりが出来る場を設けるそうだ。内容は担当者も準備しているが、参加者の声を伺いながら形作っていきたいと話している。
- これらに共通する事は、対面交流をメインにした活動だという事です。コロナ禍以後、閉じこもり傾向の人や健康を害する人が増えている。交流の機会は様々な場が有ります。無理のない範囲でやれる事を考えてほしいと思います。

元気に生き続ける事は立派な社会貢献です。先輩に『貴方の「これからが」貴方の「これまで」を決めるんだよ』と教えられた事があります。今、私にできる事は精一杯生きる事。平穏でも繰り返される日々の有難さを、しみじみと感じながら生きている昨今です。

やま

福島県公立学校退職校長会耶麻支部

広 報

発行日 令和6年6月26日

発行者 支部長 菅井 一良

生涯部事業計画

生涯部長 佐藤 めぐみ

1 退職校長のための集いの広場「たまり場」
(初回 6月15日 厚生会館 9:00~16:00)

会員が気軽に立ち寄り、ゆったりと過ごせる場所と時間をと企画しました。初めての試みです。まずはお越してください。そこには自由に歓談したり、囲碁や将棋をしたり、俳句や短歌を作ったり、映画や本の感想を話し合ったりする会員の姿があると思います。参加退出は自由です。事務局員がお茶を用意してお待ちします。継続開催も考えています。詳細は総会添付資料をご覧ください。

2 8月22日(水)「教育懇談会」を講話・懇談会の二部構成で実施します。今回は市教委学校教育課長様、市立上三宮小校長先生を講師に、「教職員の働き方改革への取組～学校は何が変わったのか」「魅力ある学校づくり、こんな実践」を中心に学校現場の悩みや教育への想い・願いを現職・退職者が親しく語り合いたいと考えます。退職者の経験に基づく貴重なお話をお聞きし、励みになる現職者も多いことと思います。多くの会員の皆様のご出席をお願いいたします。

生活部事業計画

生活部長 鈴木 隆

《研修旅行》

本年度も『のんびり温泉旅行』を企画いたしました。一次案内を最終ページに掲載していただきました。詳しくは8月に詳細案内をお送りいたしますので、ご参加をお待ちしております。

○日 時 令和6年10月18日(金) 予定

○行き先 角神温泉方面(新潟県)

○経費及び交通手段 別紙(8ページ)

《忘年会(1年の健康を祝う会)》

昨年、久しぶりに1年の健康を祝う会が開催できました。久しぶりに顔を合わせた方々、新しく退職校長会に参加された方と楽しく親睦を深めることができました。今年も多数の皆様のご参加をお待ちしています。

○期 日 令和6年11月下旬 予定

○詳しい内容は10月中旬にご案内を差し上げます。

クラブ活動計画

各クラブの予定等を簡単にお知らせします。詳細は、総会資料をご覧ください。(広報部)

囲碁クラブ

活動日 毎月第1木曜日

活動場所 喜多方市厚生会館第4研修室

問合せ先 代表 猪俣 薫

グラウンドゴルフクラブ

活動日 毎週2回(月曜日・水曜日)

活動場所 旧岩月中 校庭特設コート

(冬季は、同講堂特設コート)

問合せ先 代表 佐藤 定男

藤宝会

活動日 毎月第2金曜日と第3水曜日

活動場所 第2金曜日:佐藤定男氏宅

第3水曜日:岩月公民館

問合せ先 代表 菅井 一良

大人の遠足クラブ

活動日 年間を見通して計画を立てる

活動場所 活動内容に対応して設定する

問合せ先 代表 大堀 淨一

おめでとうございます

寿詞(100歳) 山崎 甚二郎様 口上



退職校長会の皆様、過日は長寿のお祝いを賜り、誠に有難く篤く御礼を申し上げます。只、馬齢を重ねただけの人生にとり忸怩たる思いでございます。

100年の足跡を省みますと、喜怒哀楽、悲憤慷慨、欣喜雀躍、切齒扼腕、粉骨碎身・・・等々の思いが浮かびますが、総ては過去のことで、もう戻ることは出来ません。老先の乏しい今後を思えば、ほのぼのとした豊かな老心を抱き、心静かに、先に逝った妻の許へ逝きたいと思うこの頃でございます。

賀詞受賞者の皆様より

米寿のお祝いを受けて 瓜生 敏男

2月21日に菅井会長様の家庭訪問を受けて、大変恐縮しました。当初は阿部充也副会長さんもいっしょに来訪の予定でしたが、急用のためお越しになれませんでした。



用件は米寿のお祝いに来られたわけですが何を言われるのか心配でした。入子祐三全国退職校長会長さんからの賀詞の賞状と、耶麻退職校長会からの記念品を授与に参られ感謝いたしました。

医者通いの体調でありながらも、米寿の歳まで元気に過ごせたことが不思議なくらいで

す。これもひとえに会員皆様に支えられての受賞と思っております。それも気が張っているからだと思えます。厚生会館の管理責任者、市福祉協議会の理事、市体育協会の会長として体育的行事の主催者を担当し、それぞれ責任ある立場であったため、気が抜けない日々が続いたこともありました。

疲れもたまっているのですが、今後はのんびり過ごしたいと思っておりますが、各種団体の顧問として時々声が掛かってきますので、ボケ防止のためには丁度よいかと思っております。

まずは感謝の気持ちで筆をとりました。

古い日の旅行から

須田 昭次

人生は片道切符というが、この齢になって身体の自由がなくなり、変だと思う毎日である。身体のことでは愚痴っても仕方ないから思い出を糧に生きていくことにする。



ヨーロッパの旅をしてきた。外国旅行はニューヨークへ2回行っただけだ。ヨーロッパはぜひ行ってみたいところ。

実際にロンドンの大英博物館や、ローマのコロッセオ、パリのルーブル美術館など一般的な見学コースだが、たくさんの名所旧跡を見てきた。パリのエッフェル塔では「2000」の大きな看板があり、西暦2000年を示していた。

数々の見学の中で特に印象に残ったのがポンペイである。ローマからバスで行ったが、イタリアの南の方にあるこのポンペイは、ベスヴィオ山の突然の噴火により、山麓に栄えていた古代ローマの町々を一夜にして灰と泥土の下に埋め、その後再建されることなく、いつしか人々の記憶から消え去っていった。

ところが偶然の発見により1700年後に再び地上によみがえったという。その地を実際に見て、説明を聞いて、当時の人々の高度な生活を知ることができたが、なぜ発見がそんなに遅れたのか私には疑問だ。今後も発掘が続けられるようだが…。

旅を終えて成田に着いたとき、無性に油ものが食べたくなったことを覚えている。

賀詞受賞者（岩下 保男 様）訪問



感謝状を持って伺った時、「ちょっと待って下さい」と言われて礼服に着替えて来られました。以前、学年主任としてお世話になった頃を思い起こしながらご紹介致します。

○小学校に入学された孫さんを、学校近くまで見届ける姿を何度も見かけました。今はもう、社会人になったと目を細めていました。数年前に奥様を亡くされ、若干気弱になっています。

○昭和30年当時、曲の伴奏ができる先生は珍しく、一発奮起してアコーディオンをマスター。その後、音楽の授業、鼓笛の指導等で活きたそうです。先日も還暦の教え子に弾いてほしいと。応接間にはさりげなくアコーディオンが置かれていました。

○心に残る事は、一小の校庭で学年体育の授業中、近くの家から煙発見。すぐに3人の先生に、児童は一か所に、消防署へ通報、隣近所へ声かけ、消火器使用の指示。素早い対応でぼや程度で鎮火。多方面から感謝の声が届いたそうです。

○2校5年間の校長時代、特に環境教育に尽力。花いっぱいコンクールに応募され、県知事賞等を何度も受賞。自然ガイドマップ作成、親子空き缶回収なども率先垂範で実行されま

した。

受賞、誠におめでとうございます。

(文責 菅井一良)

喜寿会員の皆様より

18年目の農業

高澤 虎信

これまで、先輩方の姿を拝見してきましたが、いよいよ我が事となり、福島県公立学校退職校長会耶麻支部様から喜寿の表彰をいただき、ありがとうございました。これも、現職時そして退職後にご支援くださいました方々のおかげであり、皆様方に感謝申し上げます。

退職後から始めた、農業も18年目になりました。水田と畑で、ご近所のやり様を、実施可能な範囲で取入れ、稲と野菜を相手にしております。草刈だけが人並みだった頃と比べれば、少しは向上しているのかなと思っております。しかし、稲や野菜の生育や栽培技術を十分理解・習得していない者の作業ですので、良かれと思って行っても適切でない時もあり、毎年反省の繰返しです。

18年前・10年前に比べると、身体は明らかに衰えています。育苗・田植え・刈取り・乾燥・糶摺りを委託しています。残りの農作業は私でも行えそうなので、あと数年は続けたいと考えているところです。

さらに、今後は周囲の方のご厚誼をいただきながら、地域の一員として過ごしつつ、[自立した生活]をなるべく長く続けたいと願っているところです。

喜多方二小前の歩道橋

小林 孝岳

喜多方市立第二小学校の南側に歩道橋があります。登下校する子ども達が利用していますが、大人の方々が使うことは多くはないようです。

喜多方市内で唯一の歩道橋ですので登ってみることにしました。登ってみたところ眺め

が良く、登下校だけでなく高い所から地域を知るのに良いところだと思いました。

歩道橋は東京都で最初に建造され、今から60年ほど前であると新聞に掲載されていました。それによれば、歩道橋が建造されたのは高度経済成長で自動車が急増し交通量も多く、子どもや高齢者を守るために設置したとされていました。

一箕小学校の近くにも歩道橋がありますが階段の段差をなくした部分を作り自転車を利用して登り降りができるような構造になっているようです。

少子高齢化の社会をみると、高度経済成長期につくられた歩道橋が年数を経ることにより撤去されていくのかもしれない。登下校に利用した子ども達ですので、その思いを残すかもしれません。

孫追っかけ その2 伊藤 政憲

皆さんの今の楽しみは何ですか。私には、これといった趣味や目標もなく、孫娘の追っかけが最大の楽しみとなっています。

田瀬（花巻）、戸田（埼玉）、天竜（浜松）、久々子（美浜）、聞きなれない地名ばかりですが、最後に荻野と言えお分りでしょう。そうです、ボート場のある地名です。孫を追いかけてこの1年、応援は勿論、各地の観光をしたり温泉に入ったりして楽しんできたところです。

静寂な水面を切りさき、オール之音と共に進んでいくシングルスカル。とても良い環境下で行なわれる優雅なスポーツです。（可哀想に孫の手のひらは豆だらけになっていますが。）

さて、これから8月のインターハイに向けての戦いが始まります。昨日、県予選を無事に通過して全国大会へのキップを手に入れました。早速、干拓で有名な長崎県諫早への追っかけ計画を立て、宿の予約を完了したところです。お盆の時期と重なり、他の種目も同時

開催されるので、交通機関やホテルの確保が難しいからです。善は急げです。

5泊6日の九州旅行にまた連れて行ってもらえることになりました。彼女の青春の1ページを見届けると同時に、自分の人生の忘れられない1コマとして心に残しておきたいと思っています。

日々是好日

農作業四方山話

齋藤 敬一



通勤農業の西会津にて

原稿依頼を受け、今迄の農作業を省みれば、安全安心な野菜作りの基本路線に変化は無いが、例えば牛蒡の収穫時に体力の衰えを感じるので作業形態を変えてきた。現在は肥料袋を行灯状態にし、培養土を入れ栽培したり、長芋も樋状の物を利用している状況で樋の長さは成長に想定外の変化をもたらす。

今は苺の最盛期で周囲を網で囲い獣害を防ぐ一方で天上からの鳥害を防ぐ必要もでてくる。消毒などは、基本的に三種類のスプレー（大蒜、唐辛子、酢と酎）で対処している。苺苗はランナーから採り置き、秋頃に大蒜と一緒にし植えている。各種の夏野菜への対応も基本は同じで、共生植物（コンパニオンプランツ）を十分に活用する。特に菰は、耕作地の四方にあり、伸びて切った菰も、作物の畝間等に散らばしている。畑の周囲の土手の草刈りも大変だが、三つの堆肥枠の三年ローテーションの土作りに役立っている。車で移動途中の精米の糠も折にふれ収集して用いる。

梅雨時の今時分は、芽出しして植えた里芋の成長に「糠と肥料のブレンド」は、特に欠かせないものになっている。畝の間は刈った草を十分に敷きつめる。雑草の生育を防ぐ一方で保湿と保温効果もある。

だから暇なしに動いている状況であるが、後期（好機）高齢の只中でふと、「何年続けられるかな？…」と終活との関わりで考える昨今である。

ますます元気

五十嵐 雄一



教習所で、現役で活躍中。高齢者講習を担当し4年目を迎えました。70歳以上の男女が来校され教習所はにぎわっています。

認知機能検査・高齢者講習を受ける方には、合格できないのではないかと不安でいっぱいの方もいらっしゃいます。そこで、心がけていることは、講習会後に喜んで帰ってもらうことです。「まだやれるよ。ありがと。」という喜びの声に役に立たせていただいていることに充実感を感じます。

会津では、免許がなくなれば行動範囲・交流範囲は狭くなりますし、それに伴い、生きる気力も衰えてしまいます。「運転をしていれば、脳・身体・心が活性化し、衰えをゆるやかに食い止めることができます。」とお医者さんも言っています。「免許証を返納すると、とたんに生きる気力を失う人もいます。」と介護士さんから声を聴きます。

私も高齢者になりましたが、講習会でアウトプットしながら、元気をもらい、今後もますます元気で頑張ります。免許返納はまだまだ早い。アウトプットで今日も元気。

老兵の日々とたわごと 田崎 敬修

老兵の生活はいつも何の変わりばえもありません。毎年家の廻りの畑で少々野菜を作

り、キウイフルーツと柿の手入れをして秋をじっと待ちます。ちょっと変わったのは町の観光ガイドを始めたことでしょうか。10年程前に行き掛かり上で始めたことなのですが、今では結構自分の楽しみになっています。越後街道と大山祇神社を中心に歴史的いわれなどを説明しながら歩くのですが、皆さんに知ってもらい喜んでいただけた時は最高の幸せを感じます。



退職して16年目を迎え、現職時代の皆様とも年が経つにつれ自然と疎遠になってしまいました。それでも先生方が様々な苦勞をしているという報道を見聞きすると老兵の自分にできることはあるのか考えさせられます。現職の時、退職された先輩方に子供たちの指導に係わっていただき大変助けていただきました。そのご恩返しにわずかですが西会津の小中学校の支援に参加しています。先輩面して係わるのは老害ですし、現在の支援が限界なのではないでしょうか。本会歴代会長さんが会員の高齢・少人数化に対応した改革に取り組んでこられました。この改革はこれからも必要ですし、合わせて支援のあり方も考える時期に来ているのかもしれない。

そして老兵は去るのみです。

教育の現場から

令和の時代の働き方改革

喜多方市教育委員会

先生方の一日は、自分の校務パソコンを起動し、出勤の記録となる「打刻」を行うことから始まります。令和5年度から導入した校務支援システムは、先生方の働き方を少しずつ変えています。校務支援システムに出退勤

時刻を記録することで、管理職はいつでも先生方の超過勤務の状況を確認することができます。負担が大きくなっていないかを気にかかけ、業務の効率化や簡素化について検討しながら、働き方改革を進めています。

出席簿や指導要録などもこのシステムでデータ管理することで、統計や記録の累積などの負担を軽減しています。このシステムは教育委員会とオンラインでつながっているので、勤務状況や出席統計などの報告の手間を以前より減らすことにもつながっています。

児童生徒をとりまく環境が多様化し、それに伴って業務量も増え、内容も複雑化しています。先生方が担う業務はどれも大切なものですが、ICTの活用などによって効率化を図り、負担を減らせるよう改善を図っています。

大きな効果が期待されている働き方改革の取組に、部活動の地域移行があります。週末に複数校の生徒を対象とした合同練習会の機会を設け、主な指導は地域の方をお願いします。地域人材の活用により、顧問の先生の負担を軽減することができます。この地域移行の取組を、教育委員会がコーディネートしています。



←複数校での合同練習



地域の方の部活動指導→

学校現場の働き方改革はまだまだ始まったばかりです。よい教育には、先生方の元気で生き生きとした姿、そして笑顔が必要です。そのために、学校から教育委員会へ届けられる様々な意見を大切に、さらなる働き方改革を推進してまいります。

事務局だより

- 4月13日(土)午後2時より喜多方市内「新丁子屋」において、退職校長会耶麻支部総会が開かれました。30名の会員が出席し、全て原案どおり可決しました。

また、4年ぶりに懇親会も開催し、24名の会員が参加しました。藤宝会の皆様のお祝いの謡に始まり、互いの近況を報告して楽しく和やかに懇親を深めました。

- 3月に県公立学校退職校長会より「能登半島地震への義援金について(依頼)」があり、支部総会以降、多くの会員の皆様から募金をいただきました。

5月21日に本会義援金として2万7千円を県事務局に送金しました。皆様のご協力・ご支援に感謝申し上げます。

(文責 神田 優子)

会計部事業計画 会計部長 荒明 茂樹

コロナが「5類」になって、1年。ようやく、退職校長会も以前に戻りつつあります。会員の活動がより充実したものになるよう、会計面から支援していきたいと思えます。

総会で決定した会計部に関連した主な事項は以下のとおりです。

- (1) 会費は、昨年度から引き続き5,000円とします。(会費免除会員を除く)
- (2) 一般特別会計を一般会計(本会計)に組み入れます。
- (3) 花輪削除、香典等、特別慶弔会計について見直します。
- (4) 昨今の各種値上げの状況を考慮し、節約に努めていきます。

以上の点から、今年度も適正な会計処理に努めていきたいと思えます。ご協力よろしく申し上げます。

広報部事業計画と編集後記

広報部長 吉田 佳正

今年度も年2回（6月と2月）の広報「やま」の発行を計画しておりますが、まずはここに6月発行予定分をお届けできることをう

れしく思うとともに、原稿の執筆をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。

新しい誌面作りも2年目となりますが、より多くの会員の皆様に執筆いただけるよう、さらなる工夫・改善を進めていきたいと考えております。今後とも、原稿依頼の連絡等ありましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。

研修旅行 1次案内**研修旅行****温泉へ行こう!**

昨年に続き本年度ものんびり温泉につかり、美味しい食事を楽しむ、日帰り旅行を予定しています。たくさんの方々が参加しやすいように以下の方針で計画いたしますので、たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

- 日帰り温泉旅行第2弾とする。
- 費用は、一人あたり1万円以内とする。
- 費用を抑えるため、また、参加者の送迎が可能な利点のため、相乗りによる自家用車利用とする。

1. 期 日 令和6年10月18日（金）予定

2. 場 所 ①ホテル角神で食事と入浴 & ②狐の嫁入り屋敷見学

3. 日程（予定）

8：30 〈各自迎え〉 いくつかのグループに分かれ、お迎え。

9：00 〈集 合〉 会津坂下町坂本セブンイレブン

10：00 〈見 学〉 狐の嫁入り屋敷

12：00 〈お風呂&食事〉 ホテル角神

14：00 〈出 発〉 ホテル角神

15：00 〈解 散〉 会津坂下町坂本セブンイレブン

15：30 〈各自迎え〉 グループ毎

4. 費 用 一人あたり7,600円程度

※ 詳しくは8月末頃、案内を差し上げます。